

平成29年度 研究の全体構想

学校課題

- ・自分の考えをもち、話すことのできる児童が増えているが、他者と関わって考えを深めることが十分にできていない。
- ・自己を見つめる力は育ちつつあるが、深く見つめるまでには至っていない。
- ・進んで仲間と関わって生活することができるが、相手の気持ちを十分に理解して生活するまでには至っていない。

学校の教育目標

よく考え
心豊かに
たくましく
やりぬく子

池田町教育委員会の方針と重点

自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる。
◎道徳的価値の理解を自分との関わりで考えたり、多様な考え方や感じ方に接して多面的・多角的に考えたりして、主体的に生き方についての考えを深める道徳の時間（特別の教科道徳）を充実する。

願う児童の姿

- ・自分の考えを進んで話し、仲間とともに考えを深めて自己を見つめることができる。
- ・道徳の時間に学んだことを学校生活の中で生かし、道徳的実践を行うことができる。

研究主題

自己を見つめ、自らよりよい生き方を求めて実践する子を育む道徳教育
～道徳的価値の自覚や自己の生き方について考えを深める道徳学習を要として～

研究仮説

○ねらいや他の教育活動との関連のあり方を明確にし、道徳性を育てるための道徳の時間の指導を工夫すれば、児童は道徳的価値の自覚を深め、自己を見つめて自らよりよい生き方を実践することができるであろう。

研究内容1

道徳科の特質を生かした学習指導過程や指導方法のあり方

- (1) 主体的に取り組むことのできる学習指導過程
 - ①学習指導過程の基本型を踏まえた展開
 - ②教材に応じた多様な展開
 - ③「私たちの道徳」を活用した学習展開
- (2) 自分との関わりの中で道徳的価値の自覚を深め、自己の生き方について考えを深める指導方法
 - ①自己を見つめる動機付けとなる導入や資料提示の工夫
 - ②役割演技や動作化などの表現活動の工夫
 - ③話し合い活動の工夫
 - ④自己を見つめる視点を位置付けた言語活動の工夫
 - ⑤今後の実践意欲が高まる終末の工夫

研究内容2

自分との関わりで多様な考え方や感じ方を深めるための指導援助のあり方

- (1) 中心発問や基本発問、補助発問（深めの発問、問い返し等）の工夫
- (2) ユニバーサルデザインを意識した板書の工夫
- (3) 役割演技や動作化における指導・援助の具体化
- (4) 考え方や感じ方を深める話し合い活動における指導・援助の具体化
- (5) 自己を見つめる指導・援助の具体化

研究内容3

道徳性を育てるための他の教育活動との関連のあり方

- (1) 体験活動の意図的、計画的な位置付けと指導・援助
- (2) 道徳的価値からとらえた児童理解
 - ①児童の道徳性の実態把握と生かし方
 - ②よさ見つけカードや、活動の蓄積や足跡となる資料の活用
- (3) 道徳科の特質からとらえた評価

研究組織

研究推進委員会

学年部研究会

全校研究会

学年研究会